

最新ニュースをお届けします！



No.219

New 動物のお世話ができる / 「飼育体験」開催♪

飼育員の仕事を体験してみませんか？
動物たちが元気に過ごすためにはお世話する人が必要です。動物園の裏側で支えている人や動物の魅力を感じる機会になることを目的としています。
動物が大スキなお友だちはぜひ体験してみてください！！お待ちしております！！

- 日時 6月20日(土)～7月12日(日) 土・日限定
 - 受付 なかよし動物園
 - 時間 14:30～15:30 1時間程度
 - 料金 1,000円 (なかよし動物園オリジナルプロマイドのプレゼント付き)
 - 対象 小学4年生～6年生
 - 定員 1日先着6人程度 (要予約)
- ※公式InstagramのDMに必要事項を明記の上、送信して下さい。
お名前／お電話番号／希望日
※動物園スタッフより、当選者の方のみ返信させていただきます。
(応募多数の場合は抽選)

【お世話内容】
ポニー・うさぎ・ひつじの飼育舎のはきそうじ、水替え、えさやり

【持ち物】
長靴、軍手、マスク、汚れてもいい服装、必要であれば着替え

【注意事項】
・動物、稲アレルギー、喘息がある方は参加できません。
・飼育体験作業中は動物の撮影を禁止しています。保護者の方の撮影は許可します。
・必ず、スタッフの話をよく聞き、参加して下さい。
・飼育舎で動物を驚かす行為はおやめ下さい。動物がビックリしてパニックをおこしてしまいます。



【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706 指定管理者 株式会社たかはしダリア

最新情報を簡単アクセス



くりやまOH!! 夢乱咲

そうてんしょうぶ まつりだまし
『蒼天翔舞～祭魂～』

早いもので今年で25回目の参加となりました。新規メンバーも加えた36人で、参加して参ります。かつて岩見沢市で活動していた「岩見沢翔舞」をリスペクトし、その2002年の曲をベースに編曲しました。蒼き大空に国蝶オオムラサキが舞う姿を、新規メンバーと表現し、「国蝶オオムラサキの棲む町」栗山町をPRして参ります。

多くの方々の出陣式へのご来場をお待ちしております。また本祭でのご声援をよろしく願いいたします。



【問い合わせ】くりやまOH!! 夢乱咲 代表☎090-1385-8202(堀)

出陣式 6月7日(日)	
14:00～	リアン ヴィレッジ LienVillageなんそら(旧とくち内科)
第35回 YOSAKOI ソーラン祭り 演舞日程	
6月13日(土)	11:39 大通公園西8丁目会場
	13:06 一番街・三越前会場
	14:36 澄川会場
	16:12 カナモトホール会場
6月14日(日)	19:36 FUNKY! すずきの 第1会場
	10:54 道庁赤れんが会場
	12:42 一番街・丸井今井前会場
	14:14 サッポロガーデンパーク会場
6月(日)	15:30頃 西10ストリート会場

No.47 巨大なオブジェ「栗山トンネルの覆道」

「栗山トンネル」の名前は、JR室蘭本線の栗山駅・栗丘駅間の鉄道トンネルと、高速道路の道東道(滝下)にあるトンネルの二つがあります。今回は、室蘭本線にある新旧二つの「栗山トンネル」について調べてみました。国道234号線を、栗山から栗沢に向かって右手山側の「泣く木」跡近くに、崖面のコンクリートの覆道と一体となったトンネル遺構が見えています。道路に沿った覆道部分は巨大な土木遺構のオブジェのようでした。このトンネルは最初、明治24年に北海道炭炭礦鉄道会社によって建設されたもので、トンネルのある一帯は「トンネル山」とも呼ばれていたようでした。大正時代には栗山名物に「隧道



栗山トンネルの覆道部分

(トンネル)餅」が紹介されています。昭和44年に栗山・栗丘間の複線化によって、新しい栗山トンネルが国道を潜るようになり、従来のトンネルを「下り」、新トンネルは「上り」線に分けて運行されていきました。平成2年、土砂崩れ事故で不通となって以降、旧トンネルは使われていません。今回、覆道の設置時期も調べたのですが、結局は分からずじまいでした。

栗山の知られざる歴史、今ここに蘇る
町史の隠れ家
町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

YouTubeで歴史コンテンツ公開中！
町史資料調査室 ☎ 76-7820

第13話「豊かさの極み」

移住Cコシモトの
栗山移住
こしょこしょ話♪



私は愉快的な仲間たちと楽しく集えることに『豊かさ』を感じます。

栗山町移住コーディネーター
文：腰本 江里沙
(通称：移住Cコシモト)

移住CコシモトのInstagramはこちら



なぜ移住したいのかと聞くと「田舎でのんびり暮らしたい」と言う人がたくさんいます。ですが、実際田舎の暮らしはそんなにのんびりしているのでしょうか。私は、それはそれで忙しいのではないかと思います。たとえば、自宅で家庭菜園をやるものなら、苗を植えるところから収穫まで、天気を見極めながらの農作業。子育て世帯であれば、仕事のかたわら子どもの行事や送迎のオンパレード。冬は冬で降り積もる雪との戦い。一方で、都会で満員電車に乗って何時間もかけて職場に行くことを考えると、人混みとは無縁でストレスのない通勤ができる。

そもそも都会と田舎では『忙しさ』の質が違うのかもしれない。ある移住者が「散歩の途中で川の流れを眺めたり、道端で名も知らない野の花を愛でたり、以前よりも人間らしく生きている気がする」と言っていたことがあります。そのような言葉を聞かされたときに、自分にとっての『豊かな暮らし』とは何かを考えさせられます。もちろん、何が豊かで何が幸福かは人それぞれ。皆さんには栗山で自分なりの『豊かさ』を見つけ、楽しんでもらいたいと思います。